

種苗法改正により、令和4年4月1日から 農研機構の果樹登録品種の増殖(*) には許諾が必要です(有償)

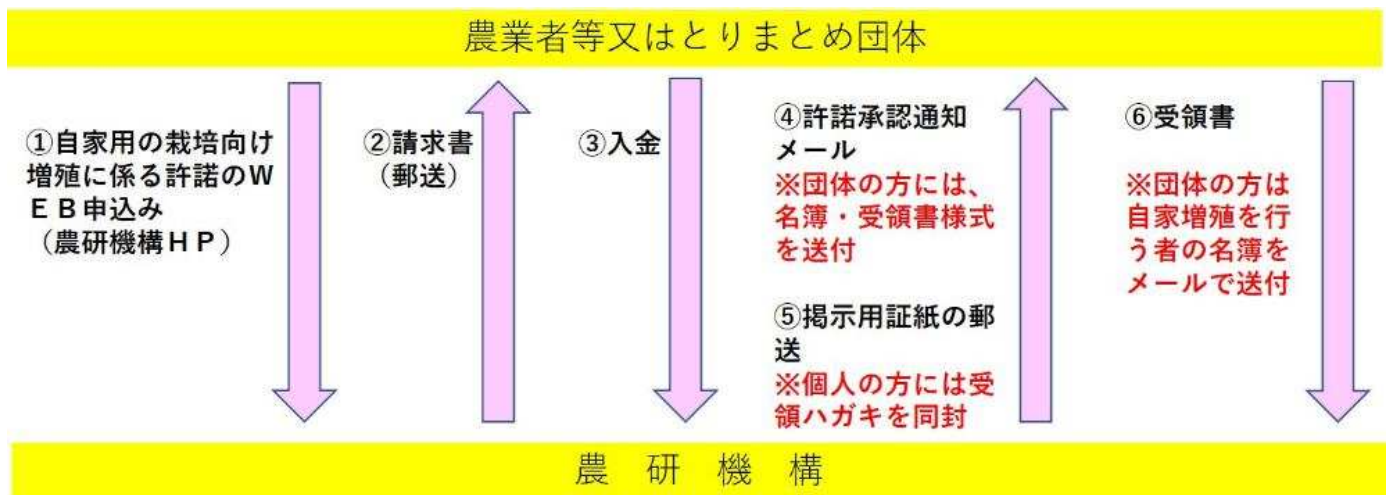
農研機構の下記URLで「自家用の栽培向け増殖」の許諾手続きを行います。自家用の栽培向け増殖が必要となる方は、手続き方法や遵守事項をご確認の上ご申請下さい。
(WEB申請のURLは、令和4年2月に開設予定です。)

(*)「自家用の栽培向け増殖」には、成木から採った穂木を接ぎ木や挿し木として利用する行為(改正前の種苗法で自家増殖とされている行為)に加え、まだ収穫物がとれない木から穂木を採り、接ぎ木や挿し木として利用すること(従前から許諾が必要な行為)を含みます

1. 対象者

農業者個人だけでなく、とりまとめ団体等(※複数名分を代表者がとりまとめて申請していただいても構いません)を通じた一括許諾についても推奨しています

2. 手続きの流れ



3. 許諾料

自家用の栽培向け増殖(使用する穂木の本数) 1本当たり、

- ・農業者個人の申請の場合は100円/本(税込)
- ・とりまとめ団体による申請の場合は50円/本(税込)

申請は100本単位で行っていただくこととなり、許諾を受けた本数内で、自家用の栽培向け増殖が可能となります。

4. 対象となる登録品種

対象品目	主な品種
ブドウ	オリエンタルスター、クイーンニーナ、グロースクローネ、サニールージュ、サンヴェルデ、シャインマスカット、ダークリッジ、ハニービーナス
カンキツ	あすき、あすみ、かんきつ中間母本農6号、せとか、たまみ、はるひ、はるみ、はれひめ、ぷちまる、べにばえ、みはや、西南のひかり、西之香、津之輝、津之望、璃の香、麗紅、他
クリ	ぼろすけ、ぼろたん、秋峰、美玖里
ニホンナシ	あきあかり、あきづき、なつしずく、なるみ、はつまる、ほしあかり、王秋、甘太、秋麗、凜夏、他
リンゴ	JM1、JM2、JM7、もりのかがやき、ルビースイート、ローズパール、錦秋、紅みのり、他
モモ	さくひめ、つきあかり、つきかがみ、なつおとめ、ひなのたき、ひめこなつ、ひめまるこ、もちづき、白秋
カキ	甘秋、貴秋、朱雀錦、早秋、太雅、太月、太天、太豊、八秋、夕紅、麗玉
ウメ	加賀地蔵、翠香、八郎、麗和、露茜、和郷
その他	おひさまコット（アンズ）、ニコニコット（アンズ）、ジェイドスイート（セイヨウナシ）、ハニービート（ニホンスモモ）

5. Q&A

Q：なぜ果樹だけ許諾料が必要なのですか

A：果樹は、木本性植物であり、ひとたび海外流出が起これば違法な収穫物が安定的かつ長期的に生産されるリスクがあり、現状でも特に果樹について違法な種苗の取り締まりが発生しています。品種のブランド価値を守り、皆さまに品種のメリットを最大限享受いただけるよう、種苗の適切な管理を行うためのコストの一部として、許諾料の負担をお願いすることといたしました。

Q：具体的にはどのような仕組みで海外流出を防止するのですか

A：許諾を受けた方には、農研機構から送付する掲示専用証紙を園地に掲示していただきます。これにより外部から無許諾増殖等の違法行為を発見しやすくし、また、そのような疑義情報に基づく調査を行うことで、種苗の増殖を適正に管理してまいります。
このほか海外への持出しを禁止する届出や海外への権利出願を行うなど、あらゆる方向から種苗の海外流出防止に繋げていく考えです。

Q：本数の数え方について教えてください

A：使用する穂木の本数を数えてください。すなわち、挿し木により1本の苗木を仕立てる場合は1本ですが、1つの台木に30本の高接ぎを行った場合は30本となります。
また、挿し木、接ぎ木等を行った時点で種苗の増殖行為は完了しますので、その後の活着不良は考慮いたしません。例えば、30本高接ぎを行った後に10本が活着不良となる場合であっても、30本分の許諾が必要となります。

Q：品種ごとに100本単位での許諾が必要なのですか

A：複数品種の許諾手続きでは、異なる品種ごとの本数をまとめて申請することが可能です。例えば、A品種20本、B品種30本、C品種50本の場合は、100本の許諾申請を行うこととなります。

Q：複数農家分をまとめる場合、農家ごとに100本単位での許諾が必要なのですか

A：農家ごとの本数はまとめて申請することが可能です。例えば、A農家70本、B農家110本、C農家120本の場合は、300本の許諾申請を行うこととなります。

<許諾手続きや遵守事項の確認、お問い合わせはこちら>

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構

知的財産部 育成者権管理課

<https://www.naro.go.jp/collab/breed/permission/index.html>

